

令和 5 年度決算説明資料

目次

I 令和 5 年度収支決算について

1 収支の状況

(1) 収支の概要 _____ 1P

(2) 収支の推移 _____ 2P

① 概要 _____ 2P

② 令和 4 年度決算との比較（病院別） _____ 3P

II 令和 4 年度資産・負債・純資産及び留保資金の状況について

1 資産・負債・純資産の状況 _____ 7P

2 施設整備・医療機器等購入について _____ 8P

3 安佐市民病院の建替えについて _____ 9P

4 企業債（移行前地方債償還債務）・長期借入金の状況 _____ 9P

5 留保資金の状況 _____ 9P

資料編

1 各年度決算比較

(1) 収支の状況 _____ 11P

(2) 収入の状況 _____ 12P

(3) 支出の状況 _____ 17P

I 令和5年度収支決算について

1 収支の状況

(1) 収支の概要

令和5年度収支決算は、収入合計 640.2 億円に対し、支出合計は 661.6 億円で、差引損益は▲21.4 億円の赤字となった。

これにより、繰越利益剰余金が 25.1 億円から、3.7 億円となった。

(表 1) 令和5年度収支決算

単位: 億円

区 分			合 計 一般 1,369床 精神 48床 感染症 16床 計 1,433床	病 院 別			
				広島市民病院 一般 715床 精神 28床 計 743床	北部医療センター 安佐市民病院 一般 414床 精神 20床 計 434床	舟入市民病院 一般 140床 感染症 16床 計 156床	リハビリテーション病院 一般 100床 自立訓練施設 定員 60名
収 入	医 業 収 益	入院収入	381.7	214.0	134.9	16.9	15.9
		外来収入	185.3	111.0	58.8	14.6	0.9
		計	567.0	325.0	193.7	31.5	16.8
		その他	9.7	5.7	2.8	1.0	0.2
		小 計	576.7	330.7	196.5	32.5	17.0
	運営費負担金・交付金		47.2	15.9	12.3	12.0	7.0
	その他収入		16.3	6.3	5.9	2.7	1.4
	合 計		640.2	352.9	214.7	47.2	25.4
支 出	給与費		308.3	163.3	101.9	23.8	19.3
	材料費		208.1	128.8	70.0	8.6	0.7
	経費		87.0	43.0	29.6	9.2	5.2
	減価償却費		46.7	19.8	22.4	3.2	1.3
	その他		11.5	4.7	5.6	0.8	0.4
	合 計		661.6	359.6	229.5	45.6	26.9
差引損益			▲ 21.4	▲ 6.7	▲ 14.8	1.6	▲ 1.5

※1 本部事務局分は、各病院の職員数、事業規模等に基づき、本部経費が充てられる割合に応じて按分している。
(按分比広島 52.7%、安佐 24.7%、舟入 12.6%、リハ 10.0%)

※2 北部医療センター安佐市民病院は、以降の資料では、「安佐市民病院」又は「安佐」と表記している。

(2) 収支の推移

① 概要

法人化初年度の平成 26 年度は黒字であったが、その後収支が悪化したため、職員一丸となって経営改善に取り組んだ結果、収支改善が図られ、30 年度は 4.1 億円の黒字を計上した。

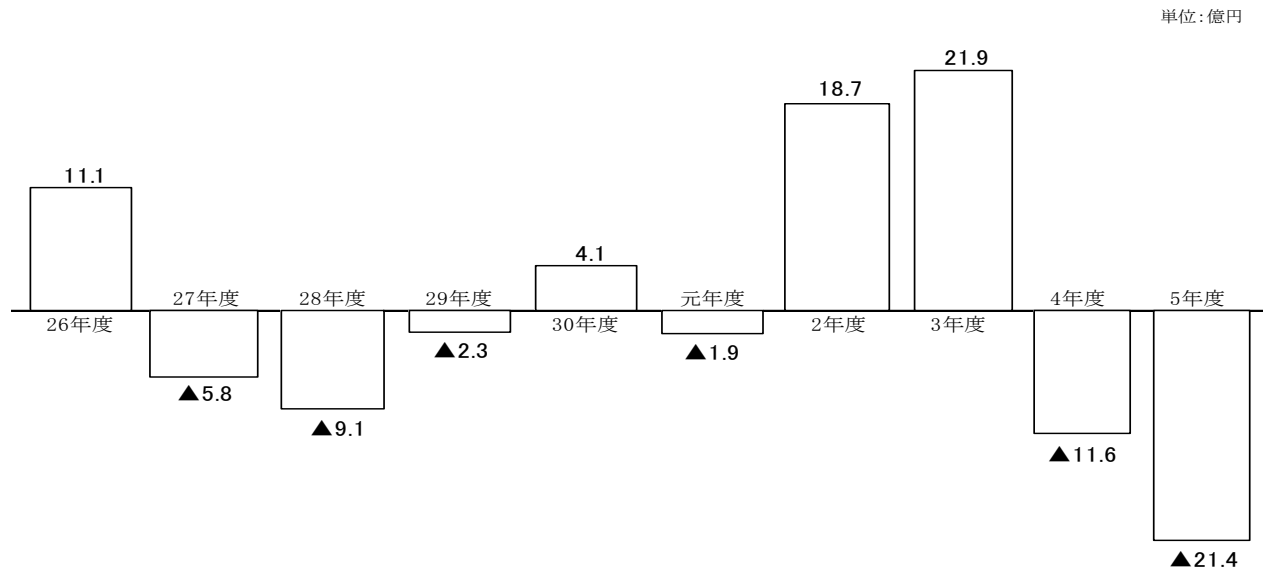
しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により入院・外来患者数が減少し、元年度は▲1.9 億円の赤字となった。このため、一層の経費節減や収入増に取り組んだことに加え、新型コロナウイルス感染症に積極的に対応したことによる補助金収入もあって、2 年度 3 年度は黒字に転換した。

4 年度の収支状況は、安佐市民病院の移転に伴う費用の増加等により経費支出が増加したことから、▲11.6 億円の赤字となった。

5 年度の収支状況は、診療単価の増などにより入院・外来収入が 27.2 億円増加し、新型コロナウイルス感染症に係る補助金等が▲19.2 億円減少したが、収入合計は前年度に比べ 7.1 億円増加した。一方、支出については、給与改定等により給与費が 6.1 億円増加し、抗がん剤の増などにより材料費が 18.6 億円増加したことから、支出合計は前年度に比べ 16.9 億円増加した。

その結果、差引損益は前年度に比べ▲9.8 億円減少し、▲21.4 億円の赤字となった。

(図 1) 4 病院の損益の推移



(表 2) 病院別内訳

単位: 億円

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
広島市民病院	5.6	▲ 4.3	▲ 5.3	▲ 4.2	0.7
安佐市民病院	5.8	0.0	▲ 3.7	1.0	2.6
舟入市民病院	1.0	0.0	1.5	1.4	1.6
リハビリテーション病院	▲ 1.3	▲ 1.5	▲ 1.6	▲ 0.5	▲ 0.8
計	11.1	▲ 5.8	▲ 9.1	▲ 2.3	4.1

区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
広島市民病院	▲ 3.2	3.7	7.1	4.8	▲ 6.7
安佐市民病院	1.6	10.5	5.7	▲ 23.8	▲ 14.8
舟入市民病院	1.0	5.5	10.6	8.7	1.6
リハビリテーション病院	▲ 1.3	▲ 1.0	▲ 1.5	▲ 1.3	▲ 1.5
計	▲ 1.9	18.7	21.9	▲ 11.6	▲ 21.4

② 令和4年度決算との比較（病院別）

(7) 広島市民病院

収入については、入院収入はカテーテル治療の増などによる診療単価の増により5.3億円増加し、外来収入は抗がん剤の適応拡大に伴う使用量の増などによる診療単価の増により3.2億円増加した。また、その他収入は新型コロナウイルス感染症に係る補助金の減などにより▲6.9億円減少した。これらから、収入合計は前年度に比べ1.9億円増加した。

一方、支出については、給与費は職員数の増などにより3.8億円増加し、材料費は抗がん剤の増などにより7.7億円増加した。また、経費は医事業務委託の増などによる委託料などの増により1億円増加した。これらから、支出合計は前年度に比べ13.4億円増加した。

その結果、差引損益は前年度に比べ▲11.5億円減少し、▲6.7億円の赤字となった。

(表3) 収支の推移

単位: 億円

区 分			2年度	3年度	4年度	5年度
収 入	医 業 収 益	入院収入	199.7	205.6	208.7	214.0
		対前年度増減	-	5.9	3.1	5.3
		外来収入	96.9	101.8	107.8	111.0
		対前年度増減	-	4.9	6.0	3.2
		小 計	296.6	307.4	316.5	325.0
		対前年度増減	-	10.8	9.1	8.5
		その他	6.0	5.6	5.2	5.7
		対前年度増減	-	▲ 0.4	▲ 0.4	0.5
		計	302.6	313.0	321.7	330.7
	運 営 費 負 担 金 ・ 交 付 金	運営費負担金・交付金	23.7	19.4	16.1	15.9
		対前年度増減	-	▲ 4.3	▲ 3.3	▲ 0.2
		その他収入	10.6	14.5	13.2	6.3
		対前年度増減	-	3.9	▲ 1.3	▲ 6.9
		合 計	336.9	346.9	351.0	352.9
	対前年度増減	-	10.0	4.1	1.9	
支 出	給 与 費	給与費	157.8	158.3	159.5	163.3
		対前年度増減	-	0.5	1.2	3.8
	材 料 費	材料費	109.7	116.2	121.1	128.8
		対前年度増減	-	6.5	4.9	7.7
	経 費	経費	37.5	39.3	42.0	43.0
		対前年度増減	-	1.8	2.7	1.0
	減 価 償 却 費	減価償却費	23.6	21.6	19.5	19.8
		対前年度増減	-	▲ 2.0	▲ 2.1	0.3
	そ の 他	その他	4.6	4.4	4.1	4.7
		対前年度増減	-	▲ 0.2	▲ 0.3	0.6
	合 計	333.2	339.8	346.2	359.6	
	対前年度増減	-	6.6	6.4	13.4	
差引損益			3.7	7.1	4.8	▲ 6.7
対前年度増減	-	3.4	▲ 2.3	▲ 11.5		

※ 「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益及び診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

(イ) 安佐市民病院

収入については、入院収入は手術件数の増などによる診療単価の増により9.7億円増加し、外来収入は化学療法患者の増などによる診療単価の増により7.1億円増加した。また、その他収入は新型コロナウイルス感染症に係る補助金の減などにより▲3.3億円減少した。これらから、収入合計は前年度に比べ12.3億円増加した。

一方、支出については、材料費は抗がん剤の増などにより9.5億円増加した。また、経費は新病院移転に係る引越業務などが皆減したことにより▲3.5億円減少し、その他支出は旧病院の解体費用などが減少したことにより▲6.1億円減少した。これらから、支出合計は前年度に比べ3.3億円増加した。

その結果、差引損益は前年度に比べ9億円増加し、▲14.8億円の赤字となった。

(表4) 収支の推移

単位:億円

区 分			2年度	3年度	4年度	5年度
収 入	医 業 収 益	入院収入	116.6	120.8	125.2	134.9
		対前年度増減	-	4.2	4.4	9.7
		外来収入	49.1	53.2	51.7	58.8
		対前年度増減	-	4.1	▲ 1.5	7.1
		小 計	165.7	174.0	176.9	193.7
		対前年度増減	-	8.3	2.9	16.8
		その他	1.8	2.1	2.5	2.8
		対前年度増減	-	0.3	0.4	0.3
		計	167.5	176.1	179.4	196.5
	運営費負担金・交付金	6.4	7.2	13.8	12.3	
	対前年度増減	-	0.8	6.6	▲ 1.5	
	その他収入	18.5	20.4	9.2	5.9	
	対前年度増減	-	1.9	▲ 11.2	▲ 3.3	
	合 計	192.4	203.7	202.4	214.7	
	対前年度増減	-	11.3	▲ 1.3	12.3	
支 出	給与費	94.7	94.2	99.5	101.9	
	対前年度増減	-	▲ 0.5	5.3	2.4	
	材料費	55.8	59.9	60.5	70.0	
	対前年度増減	-	4.1	0.6	9.5	
	経費	21.2	23.9	33.1	29.6	
	対前年度増減	-	2.7	9.2	▲ 3.5	
	減価償却費	9.3	17.9	21.4	22.4	
	対前年度増減	-	8.6	3.5	1.0	
	その他	0.9	2.1	11.7	5.6	
	対前年度増減	-	1.2	9.6	▲ 6.1	
	合 計	181.9	198.0	226.2	229.5	
	対前年度増減	-	16.1	28.2	3.3	
差引損益		10.5	5.7	▲ 23.8	▲ 14.8	
対前年度増減	-	▲ 4.8	▲ 29.5	9.0		

※ 「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、人間ドック等の公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

(ウ) 舟入市民病院

収入については、小児感染症患者や化学療法患者の増などにより入院収入は0.3億円、外来収入は1.2億円増加した。また、その他収入は新型コロナウイルス感染症に係る補助金の減などにより▲8.9億円減少した。これらから、収入合計は前年度に比べ▲6.2億円減少した。

一方、支出については、材料費は抗がん剤の増などにより1.3億円増加し、減価償却は医療情報システムなどの増により0.9億円増加した。また、経費は電気使用料単価の減などによる光熱水費などの減により▲1.0億円減少した。これらから、支出合計は前年度に比べ0.9億円増加した。

その結果、差引損益は前年度に比べ▲7.1億円減少したものの、1.6億円の黒字となった。

(表5) 収支の推移

単位:億円

区 分			2年度	3年度	4年度	5年度
収 入	医 業 収 益	入院収入	12.6	16.5	16.6	16.9
		対前年度増減	-	3.9	0.1	0.3
		外来収入	7.2	10.1	13.4	14.6
		対前年度増減	-	2.9	3.3	1.2
		小 計	19.8	26.6	30.0	31.5
		対前年度増減	-	6.8	3.4	1.5
		その他	1.4	0.9	0.8	1.0
		対前年度増減	-	▲ 0.5	▲ 0.1	0.2
		計	21.2	27.5	30.8	32.5
	運 営 費 負 担 金 ・ 交 付 金	運営費負担金・交付金	8.4	11.2	11.0	12.0
		対前年度増減	-	2.8	▲ 0.2	1.0
		その他収入	18.1	14.8	11.6	2.7
		対前年度増減	-	▲ 3.3	▲ 3.2	▲ 8.9
		合 計	47.7	53.5	53.4	47.2
	対前年度増減	-	5.8	▲ 0.1	▲ 6.2	
支 出	給 与 費	給与費	24.6	24.1	23.8	23.8
		対前年度増減	-	▲ 0.5	▲ 0.3	0.0
	材 料 費	材料費	5.0	5.8	7.3	8.6
		対前年度増減	-	0.8	1.5	1.3
	経 費	経費	8.6	9.4	10.2	9.2
		対前年度増減	-	0.8	0.8	▲ 1.0
	減 価 償 却 費	減価償却費	3.2	2.5	2.3	3.2
		対前年度増減	-	▲ 0.7	▲ 0.2	0.9
	そ の 他	その他	0.8	1.1	1.1	0.8
		対前年度増減	-	0.3	0.0	▲ 0.3
	合 計	合 計	42.2	42.9	44.7	45.6
		対前年度増減	-	0.7	1.8	0.9
	差引損益			5.5	10.6	8.7
対前年度増減			-	5.1	▲ 1.9	▲ 7.1

※ 「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

(イ) リハビリテーション病院・自立訓練施設

収入については、入院収入は患者数の増などにより0.3億円増加した。また、運営費負担金・交付金は特殊医療（リハビリテーション）などにおいて▲1.1億円減少し、その他収入は利用者の減による自立訓練施設収益の減などにより▲0.1億円減少した。これらから、収入合計は前年度に比べ▲0.9億円減少した。

一方、支出については、給与費は医師数の減などにより▲0.1億円減少し、減価償却費は電気設備等設備の償却期間終了などにより▲0.5億円減少した。また、材料費は新型コロナウイルス感染症に係る治療薬の増等により0.1億円増加した。これらから、支出合計は前年度に比べ▲0.7億円減少した。

その結果、差引損益は前年度に比べ▲0.2億円減少し、▲1.5億円の赤字となった。

(表6) 収支の推移

単位:億円

区 分		2年度	3年度	4年度	5年度
収 入	入院収入	14.9	15.8	15.6	15.9
	対前年度増減	-	0.9	▲ 0.2	0.3
	外来収入	0.8	0.8	0.8	0.9
	対前年度増減	-	0.0	0.0	0.1
	小 計	15.7	16.6	16.4	16.8
	対前年度増減	-	0.9	▲ 0.2	0.4
	その他	0.2	0.4	0.3	0.2
	対前年度増減	-	0.2	▲ 0.1	▲ 0.1
	計	15.9	17.0	16.7	17.0
	運営費負担金・交付金	8.0	7.2	8.1	7.0
	対前年度増減	-	▲ 0.8	0.9	▲ 1.1
	その他収入	1.2	1.3	1.5	1.4
	対前年度増減	-	0.1	0.2	▲ 0.1
支 出	合 計	25.1	25.5	26.3	25.4
	対前年度増減	-	0.4	0.8	▲ 0.9
	給与費	18.2	18.8	19.4	19.3
	対前年度増減	-	0.6	0.6	▲ 0.1
	材料費	0.5	0.5	0.6	0.7
	対前年度増減	-	0.0	0.1	0.1
	経費	4.7	4.9	5.3	5.2
	対前年度増減	-	0.2	0.4	▲ 0.1
	減価償却費	2.2	2.2	1.8	1.3
	対前年度増減	-	0.0	▲ 0.4	▲ 0.5
	その他	0.5	0.6	0.5	0.4
	対前年度増減	-	0.1	▲ 0.1	▲ 0.1
	合 計	26.1	27.0	27.6	26.9
	対前年度増減	-	0.9	0.6	▲ 0.7
差引損益		▲ 1.0	▲ 1.5	▲ 1.3	▲ 1.5
対前年度増減		-	▲ 0.5	0.2	▲ 0.2

※ 「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、自立訓練施設収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

Ⅱ 令和5年度資産・負債・純資産及び留保資金の状況について

1 資産・負債・純資産の状況

(1) 固定資産

広島市民病院の放射線治療システム購入などにより 33.1 億円増加し、減価償却等により▲63.3 億円減少したことから▲30.2 億円減の 723.1 億円となった。

(2) 流動資産

医療情報システム購入の支払いを行ったことなどにより現金預金が▲26.2 億円、新型コロナウイルス感染症に係る補助金未収金などが▲13.4 億円減少し、全体としては▲39.4 億円減の 261.1 億円となった。

(3) 固定負債

施設整備、医療機器購入などの財源として、広島市からの長期借入金が減少したことから、全体としては▲40.3 億円減の 665.7 億円となった。

(4) 流動負債

施設整備、医療機器購入などに係る未払金が減少し、一年以内に返済予定の長期借入金の増加などにより▲8.9 億円減の 125.0 億円となった。

(5) 資本金

資本金は、広島市からの出資金 181.4 億円で、期首から増減はない。

(6) 資本剰余金

リハビリテーション病院の土地に対する移行前地方債の償還にかかる広島市からの運営費負担金などにより 1.0 億円を計上し 8.4 億円となった。

(7) 利益剰余金

前中期目標期間繰越積立金 25.1 億円から、当期末処理損失として収支決算の赤字額▲21.4 億円を取り崩して 3.7 億円となった。

(表 7) 貸借対照表 (全体)

区 分		4年度末残高 A	5年度末残高 B	増 ▲ 減 B-A
資 産				
固 定 資 産		753.3	<u>723.1</u>	<u>▲ 30.2</u>
流 動 資 産		300.5	<u>261.1</u>	<u>▲ 39.4</u>
現 金 預 金		178.4	152.2	<u>▲ 26.2</u>
未 収 金		118.6	105.2	<u>▲ 13.4</u>
そ の 他		3.5	3.7	0.2
合 計		1,053.8	984.2	<u>▲ 69.6</u>
負 債				
固 定 負 債		706.0	<u>665.7</u>	<u>▲ 40.3</u>
流 動 負 債		133.9	<u>125.0</u>	<u>▲ 8.9</u>
未 払 金		79.6	57.6	<u>▲ 22.0</u>
そ の 他 流 動 負 債		54.3	67.4	13.1
計		839.9	790.7	<u>▲ 49.2</u>
純 資 産				
資 本 金		181.4	<u>181.4</u>	0.0
設 立 団 体 出 資 金		181.4	181.4	0.0
資 本 剰 余 金		7.4	<u>8.4</u>	<u>1.0</u>
利 益 剰 余 金		<u>25.1</u>	<u>3.7</u>	<u>▲ 21.4</u>
計		213.9	193.5	<u>▲ 20.4</u>
合 計		1,053.8	984.2	<u>▲ 69.6</u>

単位:億円

2 施設整備・医療機器等購入について

(1) 概要

安佐市民病院の建替えに係る整備費を除き、施設整備・医療機器等購入は、中期計画で令和4～令和7年度の4か年の事業費総額124.2億円を定め、その範囲内で必要な整備を行うこととしている。

5年度の実業費は、予算の37.7億円に対し、決算は19.6億円となったが、工期・納期が令和6年度に及ぶため、翌年度へ事業費を繰越した14.6億円と合わせた合計事業費は、34.2億円で、執行残は3.5億円である。

(2) 施設整備

施設整備は、広島市民病院が照明器具LED化工事外2.3億円、舟入市民病院がエレベーター2・3号機改修工事外0.8億円、リハビリテーション病院がPHS設備改修工事外0.3億円の合計3.4億円を実施した。

(3) 医療機器等購入

医療機器等は、広島市民病院が放射線治療システム外14.3億円、安佐市民病院が人工呼吸器外0.3億円、舟入市民病院が生理検査システム外1.1億円、リハビリテーション病院がデジタルX線透視撮影装置外0.3億円の合計16.0億円を購入した。

(表8) 令和5年度施設整備・医療機器等購入の内訳

単位: 億円

区 分		5年度予算 ①	5年度決算 ②	6年度への 繰越 ③	合計 ④ (②+③)	差引 ①-④	主な整備内容
広島市民病院	施設整備	10.4	2.3	5.9	8.2	2.2	照明器具LED化工事外
	医療機器等購入	20.2	14.3	5.5	19.8	0.4	放射線治療システム外
	電子カルテ更新整備	1.2	-	1.0	1.0	0.2	
	計	31.8	16.6	12.4	29.0	2.8	
安佐市民病院	施設整備	-	-	-	-	-	
	医療機器等購入	0.3	0.3	-	0.3	0.0	人工呼吸器外
	電子カルテ更新整備	-	-	-	0.0	0.0	
	計	0.3	0.3	-	0.3	0.0	
舟入市民病院	施設整備	3.3	0.8	2.0	2.8	0.5	エレベーター2・3号機改修工事外
	医療機器等購入	1.1	1.1	-	1.1	0.0	生理検査システム外
	電子カルテ更新整備	0.2	0.2	-	0.2	0.0	
	計	4.6	2.1	2.0	4.1	0.5	
リハビリテーション病院	施設整備	0.4	0.3	-	0.3	0.1	PHS設備改修工事外
	医療機器等購入	0.6	0.3	0.2	0.5	0.1	デジタルX線透視撮影装置外
	電子カルテ更新整備	-	-	-	-	-	
	計	1.0	0.6	0.2	0.8	0.2	
合 計	施設整備	14.1	3.4	7.9	11.3	2.8	
	医療機器等購入	22.2	16.0	5.7	21.7	0.5	
	電子カルテ更新整備	1.4	0.2	1	1.2	0.2	
	計	37.7	19.6	14.6	34.2	3.5	

3 企業債（移行前地方債償還債務）・長期借入金の状況

企業債（移行前地方債償還債務）・長期借入金については、5年度中に6.5億円借入れ、35.7億円の償還を行ったため、5年度末の残高は516.4億円となり、4年度末残高から▲29.2億円減少した。

（表10）企業債（移行前地方債償還債務）・長期借入金の推移

単位:億円

区 分	4年度末残高 A	5年度中の借入・償還		5年度末残高 B	増 ▲ 減 B - A
		当期増加	当期減少		
広島市民病院	163.7	5.1	16.5	152.3	▲ 11.4
安佐市民病院	308.4	0.3	10.0	298.7	▲ 9.7
舟入市民病院	30.0	0.8	5.8	25.0	▲ 5.0
リハビリテーション病院	43.5	0.3	3.4	40.4	▲ 3.1
合 計	545.6	6.5	35.7	516.4	▲ 29.2

4 留保資金の状況

留保資金は、4年度末残高は217.5億円であったが、5年度末残高は200.3億円となり、▲17.2億円減少した。

（表11）5年度末留保資金の病院別内訳

単位:億円

区 分	4年度末残高 A	5年度末残高 B	増 ▲ 減 B - A
広島市民病院	93.8	78.1	▲ 15.7
安佐市民病院	95.5	93.5	▲ 2.0
舟入市民病院	28.2	28.7	0.5
合 計	217.5	200.3	▲ 17.2

資 料 編

1 各年度決算比較

(1) 収支の状況

(表 1) 収支の推移

単位:億円

区 分			2年度	3年度	4年度	5年度
収 入	医 業 収 益	入院収入	343.8	358.7	366.1	381.7
		対前年度増減	-	14.9	7.4	15.6
		外来収入	154.0	165.9	173.7	185.3
		対前年度増減	-	11.9	7.8	11.6
		小 計	497.8	524.6	539.8	567.0
		対前年度増減	-	26.8	15.2	27.2
		その他	9.4	9.0	8.8	9.7
		対前年度増減	-	▲ 0.4	▲ 0.2	0.9
		計	507.2	533.6	548.6	576.7
	運営費負担金・交付金	46.5	45.0	49.0	47.2	
	対前年度増減	-	▲ 1.5	4.0	▲ 1.8	
	その他収入	48.4	51.0	35.5	16.3	
	対前年度増減	-	2.6	▲ 15.5	▲ 19.2	
	合 計	602.1	629.6	633.1	640.2	
	対前年度増減	-	27.5	3.5	7.1	
支 出	給与費	295.3	295.4	302.2	308.3	
	対前年度増減	-	0.1	6.8	6.1	
	材料費	171.0	182.4	189.5	208.1	
	対前年度増減	-	11.4	7.1	18.6	
	経費	72.0	77.5	90.6	87.0	
	対前年度増減	-	5.5	13.1	▲ 3.6	
	減価償却費	38.3	44.2	45.0	46.7	
	対前年度増減	-	5.9	0.8	1.7	
	その他	6.8	8.2	17.4	11.5	
	対前年度増減	-	1.4	9.2	▲ 5.9	
	合 計	583.4	607.7	644.7	661.6	
	対前年度増減	-	24.3	37.0	16.9	
差引損益			18.7	21.9	▲ 11.6	▲ 21.4
対前年度増減			-	3.2	▲ 33.5	▲ 9.8

※ 「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、人間ドック等の公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、自立訓練施設収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

(2) 収入の状況

(表 2) 入院収入

単位:億円

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
広島市民病院	199.7	205.6	208.7	214.0
対前年度増減	-	5.9	3.1	5.3
安佐市民病院	116.6	120.8	125.2	134.9
対前年度増減	-	4.2	4.4	9.7
舟入市民病院	12.6	16.5	16.6	16.9
対前年度増減	-	3.9	0.1	0.3
リハビリテーション病院	14.9	15.8	15.6	15.9
対前年度増減	-	0.9	▲ 0.2	0.3
計	343.8	358.7	366.1	381.7
対前年度増減	-	14.9	7.4	15.6

(表 3) 病床利用率

単位:%

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
広島市民病院	85.7	83.8	82.5	82.3
対前年度増減	-	▲ 1.9	▲ 1.3	▲ 0.2
安佐市民病院	72.7	73.5	83.3	87.2
対前年度増減	-	0.8	9.8	3.9
舟入市民病院	(51.0) 48.1	(52.5) 53.9	(55.0) 58.0	(57.8) 64.6
対前年度増減	-	(1.5) 5.8	(2.5) 4.1	(2.8) 6.6
リハビリテーション病院	89.4	93.8	91.2	92.1
対前年度増減	-	4.4	▲ 2.6	0.9

※ 舟入市民病院の()の数値は、内科・外科のみの数値

(表 4) 入院患者数

単位:人

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
広島市民病院	232,325	227,306	223,672	223,797
対前年度増減	-	▲ 5,019	▲ 3,634	125
安佐市民病院	139,825	141,348	131,970	138,562
対前年度増減	-	1,523	▲ 9,378	6,592
舟入市民病院	23,537	26,354	28,389	31,678
対前年度増減	-	2,817	2,035	3,289
リハビリテーション病院	32,639	34,253	33,293	33,711
対前年度増減	-	1,614	▲ 960	418
計	428,326	429,261	417,324	427,748
対前年度増減	-	935	▲ 11,937	10,424

(表5) 新規入院患者数

単位:人

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
広島市民病院	19,050	19,458	19,782	19,989
対前年度増減	-	408	324	207
安佐市民病院	13,671	14,004	14,655	15,170
対前年度増減	-	333	651	515
舟入市民病院	2,823	3,548	3,530	4,089
対前年度増減	-	725	▲ 18	559
リハビリテーション病院	484	532	505	494
対前年度増減	-	48	▲ 27	▲ 11
計	36,028	37,542	38,472	39,742
対前年度増減	-	1,514	930	1,270

(表6) 平均在院日数

単位:日

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
広島市民病院	11.2	10.7	10.3	10.2
対前年度増減	-	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 0.1
安佐市民病院	9.2	9.1	8.0	8.2
対前年度増減	-	▲ 0.1	▲ 1.1	0.2
舟入市民病院	7.5	6.5	7.1	6.6
対前年度増減	-	▲ 1.0	0.6	▲ 0.5
リハビリテーション病院	70.4	68.3	72.3	73.4
対前年度増減	-	▲ 2.1	4.0	1.1

(表7) 入院単価／患者1人・1日当たり

単位:円

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
広島市民病院	85,975	90,461	93,295	95,635
対前年度増減	-	4,486	2,834	2,340
安佐市民病院	83,415	85,478	94,940	97,359
対前年度増減	-	2,063	9,462	2,419
舟入市民病院	53,361	62,672	58,684	53,409
対前年度増減	-	9,311	▲ 3,988	▲ 5,275
リハビリテーション病院	45,551	46,241	46,774	47,009
対前年度増減	-	690	533	235

(表 8) 手術件数

単位:件

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
広島市民病院	9,412	9,587	9,953	9,724
対前年度増減	-	175	366	▲ 229
安佐市民病院	5,602	5,700	5,553	5,891
対前年度増減	-	98	▲ 147	338
舟入市民病院	323	315	459	462
対前年度増減	-	▲ 8	144	3
リハビリテーション病院	-	-	-	-
対前年度増減	-	-	-	-
計	15,337	15,602	15,965	16,077
対前年度増減	-	265	363	112

※ 件数は、手術室で行った手術件数を集計

(表 9) 救急患者数

単位:人

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
広島市民病院	20,550	22,022	23,609	27,801
対前年度増減	-	1,472	1,587	4,192
安佐市民病院	9,916	10,927	12,853	12,822
対前年度増減	-	1,011	1,926	▲ 31
舟入市民病院	10,545	18,790	29,394	37,811
対前年度増減	-	8,245	10,604	8,417
リハビリテーション病院	-	-	-	-
対前年度増減	-	-	-	-
計	41,011	51,739	65,856	78,434
対前年度増減	-	10,728	14,117	12,578

(表10) 外来収入

単位:億円

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
広島市民病院	96.9	101.8	107.8	111.0
対前年度増減	-	4.9	6.0	3.2
安佐市民病院	49.1	53.2	51.7	58.8
対前年度増減	-	4.1	▲ 1.5	7.1
舟入市民病院	7.2	10.1	13.4	14.6
対前年度増減	-	2.9	3.3	1.2
リハビリテーション病院	0.8	0.8	0.8	0.9
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.1
計	154.0	165.9	173.7	185.3
対前年度増減	-	11.9	7.8	11.6

(表11) 外来患者数

単位:人

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
広島市民病院	378,292	387,366	392,534	390,687
対前年度増減	-	9,074	5,168	▲ 1,847
安佐市民病院	175,199	178,053	174,397	182,208
対前年度増減	-	2,854	▲ 3,656	7,811
舟入市民病院	45,777	57,704	68,354	76,685
対前年度増減	-	11,927	10,650	8,331
リハビリテーション病院	7,641	8,107	8,077	8,551
対前年度増減	-	466	▲ 30	474
計	606,909	631,230	643,362	658,131
対前年度増減	-	24,321	12,132	14,769

(表12) 外来単価／患者1人・1日当たり

単位:円

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
広島市民病院	25,622	26,274	27,464	28,417
対前年度増減	-	652	1,190	953
安佐市民病院	28,039	29,896	29,630	32,292
対前年度増減	-	1,857	▲ 266	2,662
舟入市民病院	15,830	17,547	19,525	19,066
対前年度増減	-	1,717	1,978	▲ 459
リハビリテーション病院	10,456	10,062	10,353	10,496
対前年度増減	-	▲ 394	291	143

(表13-1) 運営費負担金・交付金の推移(損益収支分)

単位:億円

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
広島市民病院	23.7	19.4	16.1	15.9
対前年度増減	-	▲ 4.3	▲ 3.3	▲ 0.2
安佐市民病院	6.1	6.7	7.6	9.4
対前年度増減	-	0.6	0.9	1.8
舟入市民病院	8.4	11.2	10.9	12.0
対前年度増減	-	2.8	▲ 0.3	1.1
リハビリテーション病院	8.0	7.2	8.1	7.0
対前年度増減	-	▲ 0.8	0.9	▲ 1.1
計	46.2	44.5	42.7	44.3
対前年度増減	-	▲ 1.7	▲ 1.8	1.6

(表13-2) 運営費負担金・交付金の推移(資本収支分)

単位:億円

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
広島市民病院	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
安佐市民病院	0.0	0.1	0.0	0.0
対前年度増減	-	0.1	▲ 0.1	0.0
舟入市民病院	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
リハビリテーション病院	1.2	1.2	1.2	1.2
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
計	1.2	1.3	1.2	1.2
対前年度増減	-	0.1	▲ 0.1	0.0

(表14) 5年度運営費負担金・交付金の内訳

単位:億円

区 分	合 計	病 院 別			
		広島市民病院	安佐市民病院	舟入市民病院	リハビリテーション病院
1. 保健衛生行政(自立訓練施設分を含む)	3.4	0.1	0.1	0.9	2.3
2. 救急医療	12.8	9.2	2.3	1.3	-
3. 被爆者健診	0.2	-	-	0.2	-
4. 看護師養成	0.5	0.3	0.1	0.1	0.0
5. 特殊医療(リハビリテーション等)	3.0	0.0	0.6	-	2.4
6. 感染症医療	2.5	-	-	2.5	-
7. 小児医療	1.9	-	0.4	1.5	-
8. 院内保育	0.2	0.2	0.0	-	-
9. 企業債利息償還金	1.8	0.8	0.5	0.3	0.2
10. 医師等の研究研修に要する経費	0.4	0.2	0.2	0.0	0.0
11. 経営研修に要する経費	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12. 共済組合追加費用	0.5	0.2	0.2	0.1	-
13. 退職手当(交付金)	0.1	-	-	0.1	-
14. 企業債元金償還金(リハ病院土地取得分を除く)	16.7	4.9	4.7	5.0	2.1
15. 安佐市民病院北館管理に係る経費	0.3	-	0.3	-	-
計	44.3	15.9	9.4	12.0	7.0
資本					
16. 企業債元金償還金(リハ病院土地取得分)	1.2	-	-	-	1.2
合 計	45.5	15.9	9.4	12.0	8.2

区 分	合 計	病 院 別			
		広島市民病院	安佐市民病院	舟入市民病院	リハビリテーション病院
北館					
17. 安佐市民病院南館の解体	2.9	-	2.9	-	-

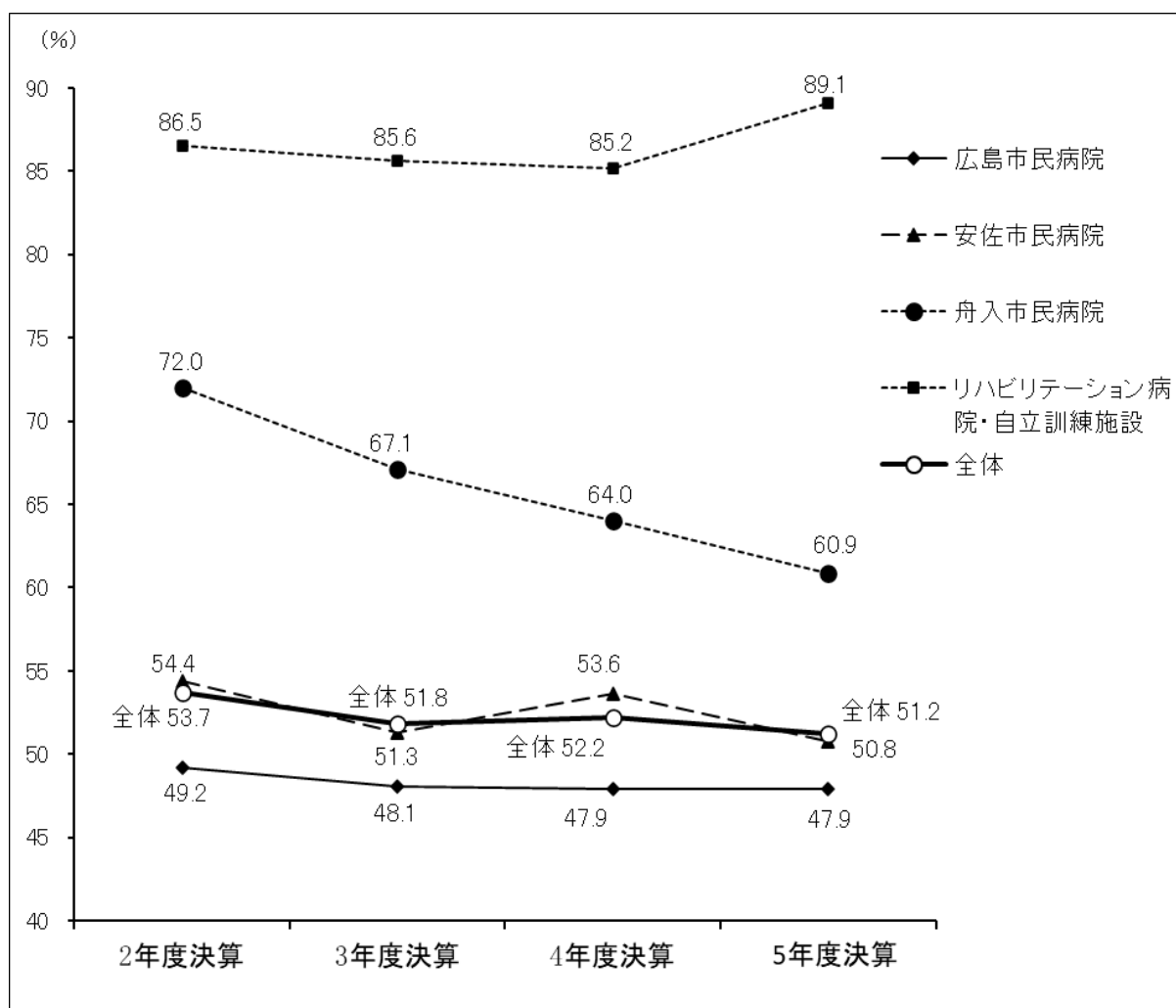
(3) 支出の状況

(表15) 給与費

単位:億円

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
広島市民病院	157.8	158.3	159.5	163.3
対前年度増減	-	0.5	1.2	3.8
安佐市民病院	94.7	94.2	99.5	101.9
対前年度増減	-	▲ 0.5	5.3	2.4
舟入市民病院	24.6	24.1	23.8	23.8
対前年度増減	-	▲ 0.5	▲ 0.3	0.0
リハビリテーション病院	18.2	18.8	19.4	19.3
対前年度増減	-	0.6	0.6	▲ 0.1
計	295.3	295.4	302.2	308.3
対前年度増減	-	0.1	6.8	6.1

(図1) 給与費対医業収益等比率



注 給与費対医業収益等比率＝(給与費/(医業収益+営業収益運営費負担金・交付金(企業債元金償還分を除く)))×100

なお2年度、3年度及び4年度は、繰入対象部門に配分した新型コロナウイルス感染症対応に係る空床確保補助金を加算した。

※ 本部事務局分の給与費は、各病院の職員数、事業規模等に基づき、本部経費が充てられる割合に応じて按分し、各病院に加算している。

(表16) 給与費の推移-職種別

単位: 億円

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
医師	66.9	68.6	68.9	69.4
対前年度増減	-	1.7	0.3	0.5
看護師	125.5	123.7	125.9	130.2
対前年度増減	-	▲ 1.8	2.2	4.3
医療技術職	38.3	38.8	40.6	42.3
対前年度増減	-	0.5	1.8	1.7
事務	9.4	9.4	9.5	9.4
対前年度増減	-	0.0	0.1	▲ 0.1
業務員	1.4	1.4	1.5	1.6
対前年度増減	-	0.0	0.1	0.1
嘱託・臨時	43.6	42.6	44.7	45.6
対前年度増減	-	▲ 1.0	2.1	0.9

(表17) 正規職員数の推移

単位: 人

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
医師	330	344	343	350
対前年度増減	-	14	▲ 1	7
看護師	1,486	1,427	1,421	1,430
対前年度増減	-	▲ 59	▲ 6	9
医療技術職	525	536	554	578
対前年度増減	-	11	18	24
事務	117	120	121	123
対前年度増減	-	3	1	2
業務員	20	21	22	22
対前年度増減	-	1	1	0
計	2,478	2,448	2,461	2,503
対前年度増減	-	▲ 30	13	42

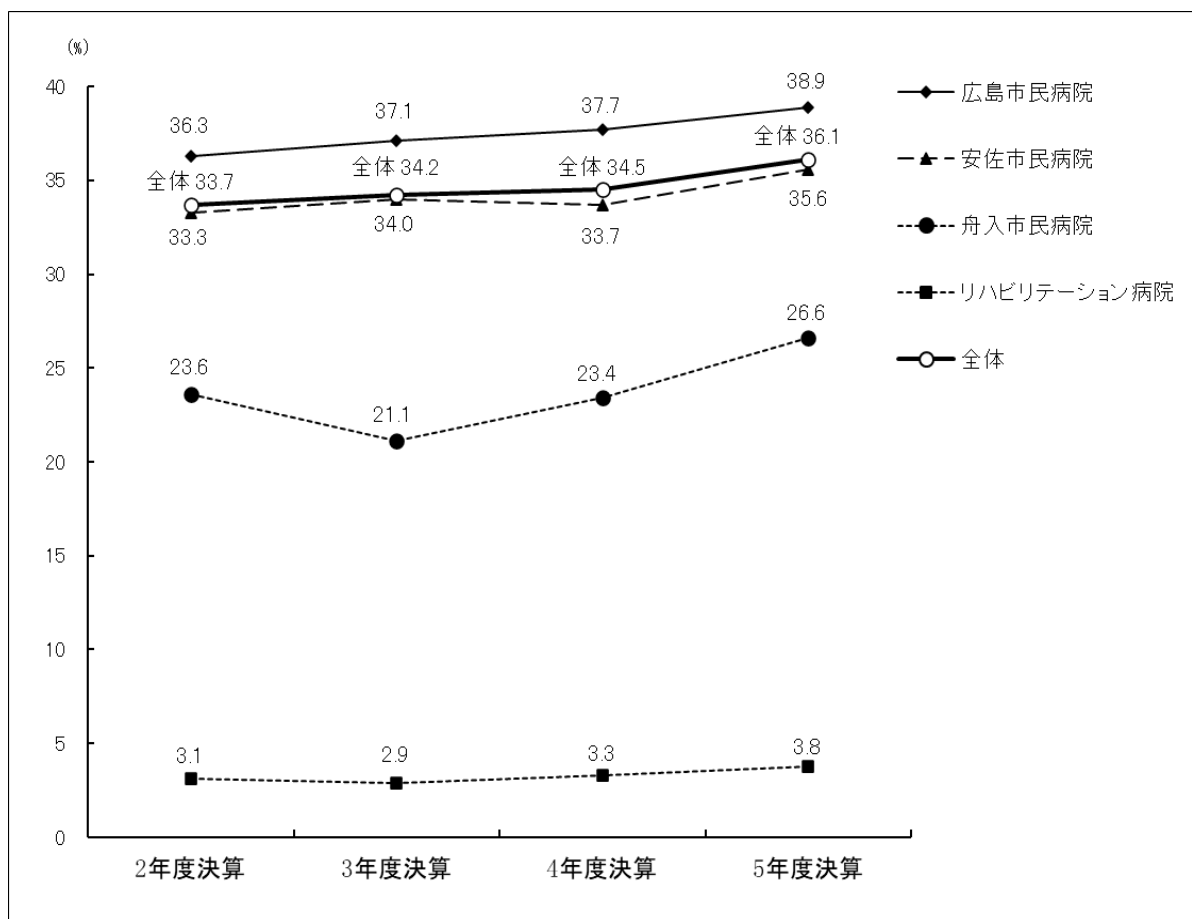
※ 職員数は各月の給与支給人員の平均

(表18) 材料費

単位:億円

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
広島市民病院	109.7	116.2	121.1	128.8
対前年度増減	-	6.5	4.9	7.7
安佐市民病院	55.8	59.9	60.5	70.0
対前年度増減	-	4.1	0.6	9.5
舟入市民病院	5.0	5.8	7.3	8.6
対前年度増減	-	0.8	1.5	1.3
リハビリテーション病院	0.5	0.5	0.6	0.7
対前年度増減	-	0.0	0.1	0.1
計	171.0	182.4	189.5	208.1
対前年度増減	-	11.4	7.1	18.6

(図2) 材料費対医業収益比率



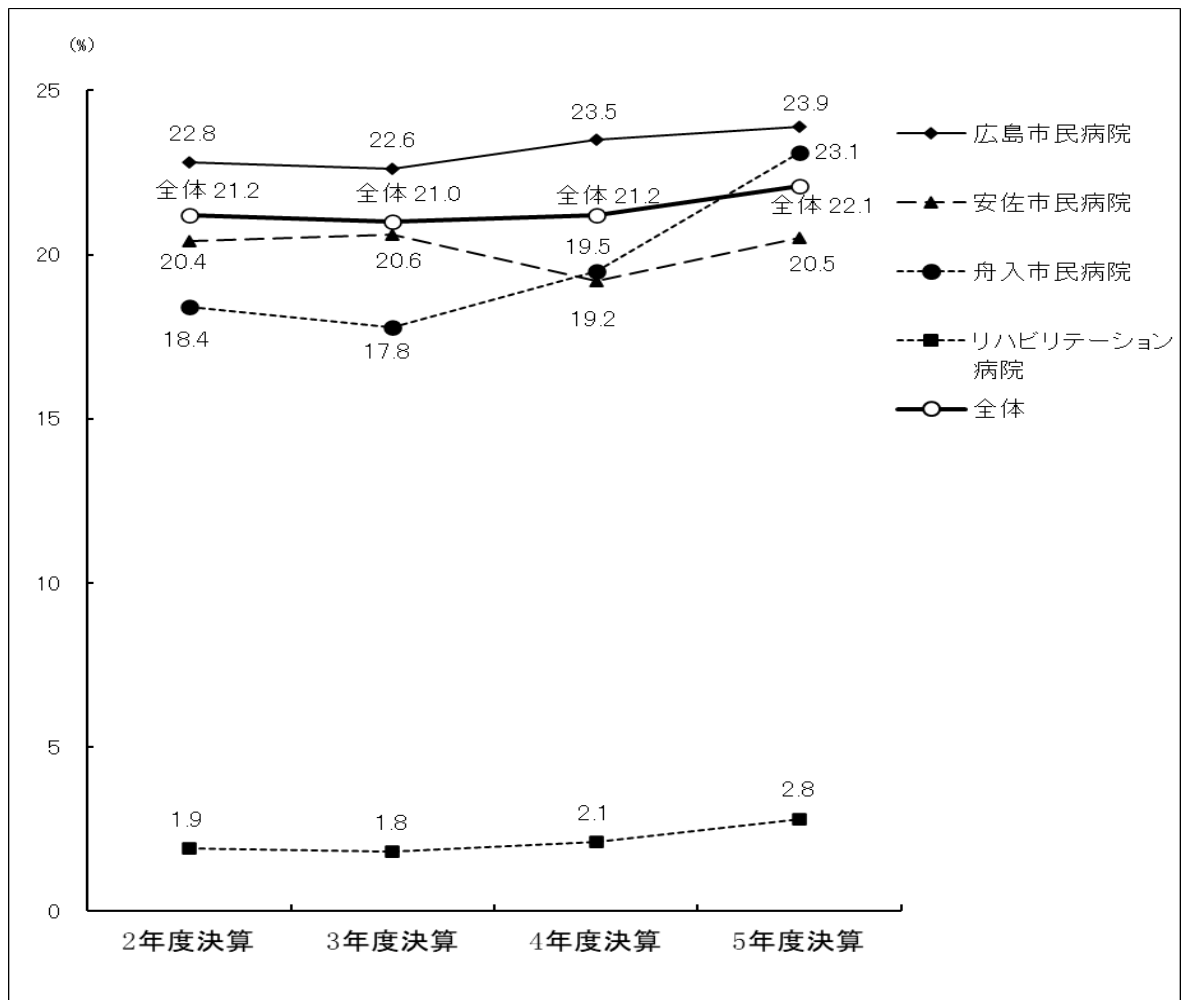
注 材料費対医業収益比率＝[材料費/医業収益(入院収入＋外来収入＋その他医業収入)]×100

(表19) 材料費のうち薬品費

単位:億円

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
広島市民病院	69.1	70.8	75.4	79.2
対前年度増減	-	1.7	4.6	3.8
安佐市民病院	34.1	36.3	34.4	40.3
対前年度増減	-	2.2	▲ 1.9	5.9
舟入市民病院	3.9	4.9	6.1	7.5
対前年度増減	-	1.0	1.2	1.4
リハビリテーション病院	0.3	0.3	0.4	0.5
対前年度増減	-	0.0	0.1	0.1
計	107.4	112.3	116.3	127.5
対前年度増減	-	4.9	4.0	11.2

(図3) 薬品費対医業収益比率



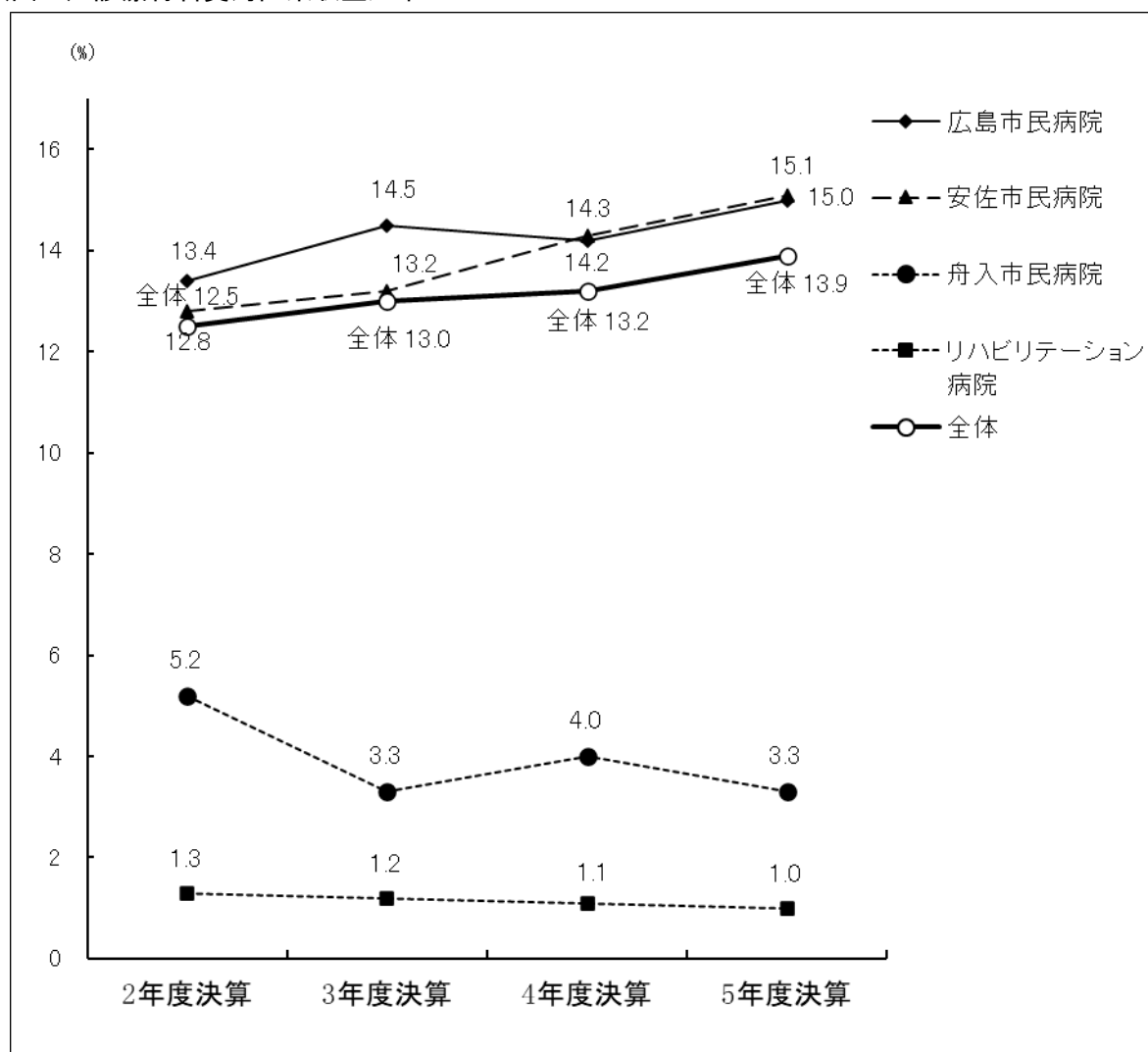
注 薬品費対医業収益比率＝[薬品費/医業収益(入院収入＋外来収入＋その他医業収入)]×100

(表20) 材料費のうち診療材料費

単位:億円

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
広島市民病院	40.5	45.3	45.5	49.5
対前年度増減	-	4.8	0.2	4.0
安佐市民病院	21.5	23.2	25.7	29.6
対前年度増減	-	1.7	2.5	3.9
舟入市民病院	1.1	0.9	1.2	1.1
対前年度増減	-	▲ 0.2	0.3	▲ 0.1
リハビリテーション病院	0.2	0.2	0.2	0.2
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
計	63.3	69.6	72.6	80.4
対前年度増減	-	6.3	3.0	7.8

(図4) 診療材料費対医業収益比率



注 診療材料費対医業収益比率＝〔診療材料費/医業収益(入院収入＋外来収入＋その他医業収入)〕×100

※ 材料費の内訳として主なものを記載しており、この他に、給食材料費、医療消耗備品費があることから内訳の合計額は、材料費の決算額とは一致しない。

(表21) 経費

単位:億円

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
広島市民病院	37.5	39.3	42.0	43.0
対前年度増減	-	1.8	2.7	1.0
安佐市民病院	21.2	23.9	33.1	29.6
対前年度増減	-	2.7	9.2	▲ 3.5
舟入市民病院	8.6	9.4	10.2	9.2
対前年度増減	-	0.8	0.8	▲ 1.0
リハビリテーション病院	4.7	4.9	5.3	5.2
対前年度増減	-	0.2	0.4	▲ 0.1
計	72.0	77.5	90.6	87.0
対前年度増減	-	5.5	13.1	▲ 3.6

(表22) 減価償却費

単位:億円

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
広島市民病院	23.6	21.6	19.5	19.8
対前年度増減	-	▲ 2.0	▲ 2.1	0.3
安佐市民病院	9.3	17.9	21.4	22.4
対前年度増減	-	8.6	3.5	1.0
舟入市民病院	3.2	2.5	2.3	3.2
対前年度増減	-	▲ 0.7	▲ 0.2	0.9
リハビリテーション病院	2.2	2.2	1.8	1.3
対前年度増減	-	0.0	▲ 0.4	▲ 0.5
計	38.3	44.2	45.0	46.7
対前年度増減	-	5.9	0.8	1.7

(表23) その他の支出

ア 費目別

単位: 億円

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
資産減耗費	0.3	0.2	1.6	0.8
対前年度増減	-	▲ 0.1	1.4	▲ 0.8
過年度損益修正損	1.0	1.4	0.9	1.6
対前年度増減	-	0.4	▲ 0.5	0.7
長期借入金・移行前地方債利息	4.5	4.6	5.0	4.8
対前年度増減	-	0.1	0.4	▲ 0.2
その他	1.0	2.0	9.9	4.3
対前年度増減	-	1.0	7.9	▲ 5.6
計	6.8	8.2	17.4	11.5
対前年度増減	-	1.4	9.2	▲ 5.9

(表23) その他支出 病院別

イ 病院別

単位: 億円

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
広島市民病院	4.6	4.4	4.1	4.7
対前年度増減	-	▲ 0.2	▲ 0.3	0.6
安佐市民病院	0.9	2.1	11.7	5.6
対前年度増減	-	1.2	9.6	▲ 6.1
舟入市民病院	0.8	1.1	1.1	0.8
対前年度増減	-	0.3	0.0	▲ 0.3
リハビリテーション病院	0.5	0.6	0.5	0.4
対前年度増減	-	0.1	▲ 0.1	▲ 0.1
計	6.8	8.2	17.4	11.5
対前年度増減	-	1.4	9.2	▲ 5.9